

平成23年度第3回東郷湖活性化プロジェクト推進会議 会議録

日 時 平成24年3月29日(木) 午後1時30分～3時30分
場 所 湯梨浜町役場 2階第1・2会議室

1. 開 会 進行：中本企画課長

こんにちは。それでは、定刻になりましたので、平成23年度第3回東郷湖活性化プロジェクト推進会議を開催したいと思います。本日は、たいへんお忙しい中、皆さんお集まりいただきましてありがとうございます。この会議でございますが、本日の目標といたしまして、3時30分までの2時間という形で審議をしていただきたいと思います。皆さんのご協力をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

開会にあたりまして、山田会長の方からごあいさつをお願いいたします。

2. 会長あいさつ

こんにちは。何か春が近づいたなという感じで、東郷池のそばにいる喜びもまた増してきたなと思います。3月25日にシンポジウムがあったんですけど、非常に申し訳なかったんですが、私、大学の行事と重なってしまいまして、失礼しました。またお聞かせいただければと思います。それで、この会議の趣旨については、毎度ですけれども、東郷池に関わって様々な事業が行われていますが、それをトータルにきちっと把握をして、チェックをして、総合力としてグレードを上げていこうというのが大きな趣旨だろうと思います。ただ、マンネリになってはいけないという思いもあって、一方で未来創造会議というものが立ち上がってきました。そこで新しい発信ができる。そういうものとの連携、或いは県の方でおつくりになった東郷池のアクションプランでしょうか。この中に、五感基準、見るとか、聞くとか、感じるとか、におうとか、そういう基準というものが出てきました。これも非常に、東郷池を考える上で大切な基準かなと思います。色々な角度から東郷池をグレードアップし、湯梨浜をグレードアップできればいいなと思います。

今日は、お手元にありますように、今年度の状況はどうであったかということをチェックしていただきながら、来年度に向けて何を、どのようにしたらいいか、ご意見をうかがえればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 町長あいさつ

皆さん、こんにちは。本日は、お集まりいただきましてありがとうございます。会長のお話の後に重ねてということは必要ないんでありますけども、今日は、先程おっしゃいました内容でご議論いただく訳なんですけれども、一つはこの東郷湖活性化プロジェクトと未来創造会議の役割分担といいますか、そのあたりの整理をあらかじめしておかなければならないということがございまして、私の気持ちといたしましては、この活性化プロジェクトの方は、構成員のメンバーの皆さんからしてもそうでありますけれども、比較的大所高所から、環境

をベースにした東郷湖周の振興等について、進行管理をしながらご意見をいただいたりする、そういう会議だというふうに考えておりました、東郷湖・未来創造会議の方は、そういった意味では、ある意味、自分たちが企画して実践する部隊であるという具合に思っております、そのような棲み分けでご理解いただければと思います。今日、2時から中座いたしますけれども、何卒よろしく願いいたします。

4. 協議事項 進行：山田会長

それでは、司会進行を努めさせていただきます。お手元にありますような協議事項に沿って、まずはご報告をいただきたいと思っております。

平成23年度事業進捗状況について、個別事業の進捗状況ということで、順次担当課長の方から説明をお願いいたします。

(前田町民課長)

それでは、町民課の前田といいます。よろしく願いいたします。町民課の所管する事業につきましてご報告申し上げます。2ページ、3ページが、町民課が所管している事業でございます。

最初に、NO.1 水草肥料化調査でございます。これは、第2回の活性化プロジェクト推進会議でもご報告させていただきましたが、今年度につきましては、水草がほとんど見られなかったということもございまして、この事業そのものは、平成23年度については中止をさせていただいたということでございます。水草がなかったということで、原因は何だろうかということが色々ございまして、塩分濃度等も影響しているのではないかとございまして、詳細には把握はいたしておりません。また、色々衛生環境研究所の方でも研究されていると思いますので、ご教示いただければという具合に思います。

次に、3ページでございます。NO.2 東郷池を守るアダプトプログラム制度の推進ということで、平成23年度当初は22団体ということでスタートいたしておりました。平成23年度の目標として、3団体増やして25団体にするということで、今年度事業を進めて参りました。結果といたしましては、平成23年度3団体、アダプトプログラムということでやってやろうという団体がございまして、何とか目標といたしております25団体に到達したところでございます。参加者につきましては、報告を現在求めているところでございまして、参加者数前年度(700人)以上ということで目標を持っておりますが、資料を作成した時点で報告をいただいているのは、4団体の136人ということでございます。追って報告があるかと思いますが、以上でございます。よろしく願いいたします。

(山田会長)

続けて、まずご報告をお願いいたします。

(吉井鳥取県中部総合事務所県民局企画調整参事：事務局)

そういたしますと4ページですけれども、NO.3 水質浄化覆砂事業及び効果検証につきまして、私の方から説明させていただきます。これは県の事業で、平成21年度、22年度に覆砂を実施いたしましたけれども、その効果を検証して、今後の水質浄化対策に生かすため

ということで、平成22年度、昨年度から調査を行っております。今年度も計画どおり調査を終了しております、その調査結果のデータについて報告があったところなんですけれども、非常に専門的な数値ですので、専門的にその内容につきましては検証なり、検討しないといけないということで、水質浄化を進める会の専門部会の方に相談させていただいて、まとめていきたいと考えております。覆砂をしたことによって効果は見られているところなんですけれども、どの程度持続するかということも検討したいということで、来年度もう一回調査をするようにしております、その予算も確保しているところです。最終的にはこれらをまとめて、今後の対策をどのようにしていったらいいかということをもとめたいという具合に考えております。以上でございます。

(山田産業振興課長)

続きまして、5ページでございます。NO.4 シジミの生息環境改善対策でございますが、これは東郷湖漁協の方が事業主体で、シジミの生息域に覆砂をする事業でございますが、今年度は11月2日に着工して、1月31日に完了しております。500m³を実施しております。事業としては、実施したということで100%の達成度を挙げておりますが、毎年、台風とか、色々な条件が重なって環境が改善できないというようなこともありまして、今後ともこの事業を継続し、また範囲を広げていかななくてはいけないのではないかなというようなことを感じております。

次に、6ページでございます。No.5 内水面の環境保全でございますが、事業主体はこれも東郷湖漁協でございます。言え、東郷池の湖底のゴミ回収ということでございますけれども、これは県の補助、また、町の補助を含めて実施しておりますけれども、今年度は先程言いましたように、台風が連続して来襲したということもありまして、池の中に相当木とか、ゴミ類が堆積しました。そのために、目標としては減らすということであったんですが、実績としては66.8m³の回収になりました。達成度については50%としておりますけれども、事業を実施したということで50%を挙げております。今年度をもって県の補助金が終了するということもありまして、次年度以降どのように進めるかということが、今後、漁協との協議になるかと思っております。とりあえず、町費として1/3は確保しております。以上でございます。

(中本企画課長)

続きまして、NO.6 稚魚放流調査でございます。サケの飼育放流プロジェクトに町として協力参加するというので、発眼卵をいただいて育てて、それを放流するという事業でございます。進捗状況でございますが、12月26日に発眼卵を受け取りまして、飼育を開始したところでございます。最終的には、3月11日から27日にかけて、天神川、東郷川、東郷湖への放流を行ったところでございます。役場、保育所、幼稚園等々で放流を行ったところでございます。評価といたしまして、進捗状況をホームページで公開しましたが、全町の取り組みとして、幅広く周知、啓発することができなかったということで、75%としていたところでございます。以上でございます。

(山田産業振興課長)

続きまして、8ページでございます。NO.7 池の産物料理メニュー化促進でございますけれども、シジミを使用した料理としてレシピを12種類開発して、既にホームページ等に掲載をしております。さらに、養生館でございますけれども、「鯉めし」という新しいメニューを開発されまして、商品化として定着したという状況でございます。そのため、目標達成については100%を挙げさせていただいております。

続いて、9ページのNO.8 カニバス事業でございます。これは、旅館組合が主となって実施しておられますけれども、これについては、誘客の促進を図るとともに、町内施設への波及効果を狙うという目的で行っております。先週現在で、昨年と比べて125%でございます。達成度については90%を挙げております。達成度の90%については、カニバスツアーとしておいでいただいて、町内の観光地といいますか、観光地を周遊するといいますか、そういうことがあまりなかったということで、そのあたりも含めて達成度を90%にしております。

続きまして、10ページでございます。NO.9 特産品販売促進活動でございますけれども、先般、3月23日に特産品の新商品お披露目会ということで開催いたしました。主なものが、梨をまるごと1個使った「梨まるごとパイ」、そして、梨を使った「ジャム」とか、「黒酢」、それから、加工グループの「美糰（びこうじ）」というものが新しくできましたので、そういうもののお披露目を行いました。達成度は80%にしています。今後、これについては、販売促進の方に力を入れていくということで計画をしています。

次に、NO.10 観光商品造成戦略活動でございますけれども、今年、JRの山陰キャンペーンということもありますし、それから、古事記編纂1300年ということもあります。倭文神社を題材とした企画を計画しました。下照姫命が容姿端麗であったということもあって、「かほり袋（香り袋）」を参拝アイテムとして製作いたしました。これは、4月1日から実施を考えております。既に、今のところJT Bだけなんですけれども、旅行会社に企画採用していただきました。3月22日には、倭文神社と古代料理の企画ということで、これも発表会を実施いたしました。達成度は80%を挙げております。今後、啓発に向けて努力していこうと考えているところでございます。以上でございます。

(山本委員)

燕趙園でございます。NO.11 燕趙園遊覧ということでございますけれども、燕趙園遊覧につきましては、平成21年度から運航している事業でございます。今年度も100人という目標でやってきた訳ですけれども、実際にはほとんど利用がなかったというのが現状でございます。何が原因かという、やはり広報不足ということもあるんでしょうけれども、参加料1,000円というものがネックになっているんじゃないかという具合に考えているところでございます。実際に予約があったとしても、天候が悪くて中止になるというケースもあっておるといってございます。そうした中、望湖楼から燕趙園棧橋の方に入ってくる船が定期的にあつた訳ですけれども、現在、望湖楼の方が運航中止ということになっておりますので、運航がないという状況ですけれども、春からは始まるんじゃないかということでございます。来年度に向けては、実施するにあたっては検討しなくてはいけないかなという事業で終わっ

たというところでございます。達成度といたしましては、資料に書いてありますとおりでございます。

続きまして、NO.12道の駅燕趙園の活性化ということでございます。こちらにつきましては、燕趙園入園者の50%にご利用いただくという目標が一点、それから、農産物の搬入を増やそうというところで、50農家以上ということ掲げておりました。これにつきましては、現在のところ燕趙園入園者の約40%、それから、登録農家につきましては62戸ということで、ほぼ達成はできているんですけども、実際、どのくらいの農家に搬入していただいているかというほんの僅かでございます。登録だけで終わっているというような状況でございますので、今後の課題を残しているというのが現状でございます。燕趙園としましても、来年度何とかしたいということで、12月25日に道の駅の感謝祭を開催してみようということで取り組んだ訳ですけども、雪が降ってしまって参加者が少なかったというような結果に終わっているというのが現状でございます。燕趙園の道の駅については、観光施設としての道の駅ということでございますので、観光客が中心というのが現在の状況でございます。以上でございます。

(山田産業振興課長)

産業振興課の方で道の駅燕趙園の補足をさせていただきますと、町として道の駅燕趙園を中心とした地域の活性化ということで取り組んでいます。活性化委員会等を立ち上げて考えてみようということで進めておりましたけども、本年度は委員会の立ち上げはできませんでした。代わりとっては何ですが、直売所ステップアップセミナーを開催いたしました。これは、ハワイ夢マートが今年の直売所甲子園に、全国大会に出られまして、その報告会を兼ねて、直売所を中心とした地域の活性化ということで、そういう課題で2月29日に実施しております。今後、さらに関係者を広げていきたいと考えております。

次に、14ページのNO.13ホワイトライアスロンin湯梨浜でございますが、今年度も6月19日に開催をいたしました。実績に挙げておりますけども、一般が269人、学生が19人、リレー6組、ジュニア11人ということで参加をいただきました。達成度については、宿泊が30%を目標にしておりましたけれども、それはクリアーできた。それから、450人のボランティア募集についてもクリアーできたということで、100%と挙げています。来年度につきましては、宮本所長がおいでになっておられますけれども、ご努力いただきまして、来年度のこの大会に対する県補助も継続ということで決まりました。今年度以上に、これまで以上に力を入れて頑張りたいと思いますけれども、選手の家族、同伴者の宿泊等を増やす工夫というものも含めて、実施していきたいと考えています。

(中本企画課長)

続きまして、15ページのNO.14湯梨浜夏まつりでございます。湯梨浜夏まつりといまして、平成23年度におきましては、7月23日に湯梨浜夏まつり綱引き大会の開催、24日に水郷祭の開催、31日にとまり夏まつりの開催ということで、これらを実施いたしました。目標としましては、ホームページのアクセス数を1,000以上ということで目標を立てました。結果は2,691ということで、アクセス数についてはクリアーしたのでは

ないかということで100%にさせていただいているところでございます。今後、4月に入りましたら、平成24年度に対して実行委員会を開催する予定でございます。

続きまして、NO.15 中華コスプレ・プロジェクトでございます。平成23年度の実績といたしましては、第10回中華コスプレ日本大会として、平成23年5月28日、29日に開催しました。15都府県から58組、112名の参加をいただいたところでございます。それから、第4回中華コスプレアジア大会ということで、平成23年11月12日、13日に開催されました。韓国から11名の参加と、日本各地から140名の参加ということで、151名の参加をいただいたところでございます。最終評価といたしましては、日本大会、アジア大会とも前年度実績を上回り、地域の風物詩となっているのではないかと考えています。それから、ホームページを立ち上げられて、インターネットによる口コミ、呼びかけ等も参加者の増加につながっているのではないかと考えています。また、参加者はリピーターが4割、半分以上が新規ということで、少しずつコスプレについて浸透しているのではないかと評価でございました。

続きまして、NO.16 東郷湖ドラゴンカヌー大会でございます。これにつきましては、実施主体が東郷湖ドラゴンカヌー大会実行委員会事務局でございますが、私の方で説明させていただきます。第11回東郷湖ドラゴンカヌー大会として、平成23年度は11回目を迎えておりました。平成23年8月21日に開催し、80チーム、800人の参加であったということでございます。事業目標としましては、参加チームを前年度以上という形で、102チームでございましたけれども、場所の変更等もあって参加チームが少なかったというところがあります。しかしながら、最終評価としましては、今回、会場運営の関係でバーベキュー等が火気厳禁ということで使用できなかったことによって、参加者の満足度の向上につながらなかったのが、問い合わせ等がありましたけれども、これらのことで少し影響があったのかなということが評価でございます。以上でございます。

(山田産業振興課長)

続きまして、NO.17 水源域森林育成作業でございますけれども、事業の目標として、竹林の整備を2ha、森林間伐を20haということで計画して推進してきましたが、間伐につきましては町内で30ha実施、そして、クヌギ分収につきましては1.5ha実施しましたけれども、竹林整備については0.48haに留まりました。これについては、地元負担というのが増えてきたということも、そういう影響がございまして、推移としてはそのような結果となりました。目標達成度としては80%と考えております。

続きまして、NO.18 エコファーマーの推進でございますけれども、ご覧のとおり達成度は挙げておりません。平成23年度、この事業に関して推進はしておりません。申し訳ありません。以上でございます。

(岸田建設水道課長)

続きまして、建設水道課でございます。20ページのNO.19 観光ルート整備でございます。観光ルート整備ということで、平成23年度は休止しております。現在、国に申請をしております。国の許可が出れば、早期に着手したいと考えています。それで、平成24年度の完

成を目指していく予定でございます。以上でございます。

(蔵本生涯学習・人権推進課長)

続きまして、21ページのNO.20 東郷荘絵図活用導入事業でございます。実施スケジュールの方をご覧いただければと思いますが、6月15日、7月6日、11月14日に、それぞれ文化財の見学会を行っております。それから、2月29日に文化財ボランティアガイドの研修会を実施いたしました。3月11日には歴史講演会ということで、東京大学歴史編纂所の先生においでをいただいて講演会の実施をしております。平成24年度に向けてでございますけれども、4月に入りましてからボランティアガイドの組織化を進めて参りたいと考えています。組織化を図って、要請があった場合に対応できる体制をつくっていきたいと思っております。以上でございます。

(中本企画課長)

続きまして、22ページのNO.21 ゆりはま塾でございます。町の歴史、伝統、自然に関する講座で知識、技術等を習得し、次世代への継承を図るという目的で実施しています。また、第2期生につきましては、先程、東郷荘絵図の方でありましたボランティアガイドへの育成ということも含めて、ゆりはま塾を開催させていただきました。実績報告でございますが、10月18日に第1次募集を行い、9名の方の申し込みがあったところでございます。それで、11月14日からゆりはま塾を開催し、3月11日までに4回開催したところでございます。2月29日は、先程のボランティアガイド育成の研修も含めて参加をしていただいたところでございます。最終評価としましては、塾生9名で活動し、塾生が話し合っただけで学ぶテーマを決定して、塾生自らが自主的にゆりはま塾の企画立案をしていこうという形で、今年度から進めているところでございます。最終的にボランティアガイドにつなげていきたいと考えているところでございます。以上でございます。

(岸田建設水道課長)

続きまして、NO.22 藤津公園の地盤沈下対策ということで、実施主体といたしましては、鳥取県でございます。本来なら3月で完成を目指しておられたようですが、盛土の関係で他の工事現場から土を運搬されるということから、若干完了日が遅れたということで、平成24年7月まで完成を伸ばしたという具合に聞いております。進捗率としましては60%ということでございます。以上でございます。

(中本企画課長)

続きまして、24ページのNO.23 東郷湖活性化プロジェクト推進会議でございます。年3回ということで計画し、第1回、第2回、本日、第3回の推進会議を開催したところでございます。それで、進捗状況、実績について、東郷湖・未来創造会議のことを書いておりますが、次ページの方に詳細を記載しておりますので、ここでは省略させていただきます。事業の目標として、事業の進捗状況を随時ホームページ等で公開するというところで、現在までの達成度は85%ということでございます。

次に、追加という形になりますけれども、NO.23-1 東郷湖・未来創造会議でございます。先程町長の方からも説明がありましたけれども、平成23年度に新たに東郷湖・未来創造会

議を立ち上げました。東郷湖周辺の地域資源を活用しながら、町民との協働による魅力あるまちづくりを推進するために、町民主導のワークショップとして様々な提案やアイデアを集約し、中長期的な発展戦略として事業展開するという一方で、未来創造会議を立ち上げたものでございます。実施の方針としましては、本町出身の福井昌平さんをファシリテーターという形でお迎えして、東郷湖周辺の課題等を検討しながら、アイデアを集約したものでございます。進捗状況といたしましては、平成23年8月5日に第1回の未来創造会議を開催し、ワーキングチームという形で、3つのチームをつくったところでございます。社会資本整備、観光・物産の活性化、顧客満足度開発、イベント・コンテンツの開発ということで、3つのチームでワークショップとして検討を行ったところでございます。平成23年9月15日から10月4日までに、それぞれのワーキングチームでチーム会議を延べ5回開催したところでございます。それから、全体会ということで、第2回を10月28日、第3回を12月9日に開催して、最終的に3月25日でございますが、東郷湖・未来創造会議で取りまとめた内容と東郷湖活性化プロジェクト推進会議の結果等をシンポジウムという形で開催したところでございます。事業の目標としては、進捗状況を随時ホームページ等で公開するという一方で、東郷湖・未来創造会議の進捗状況をホームページ等で随時公開しました。達成度は現在のところ95%ということで報告させていただきます。以上でございます。

(山田会長)

関係する項目もありますので、次の数値目標の達成状況のところも併せて説明をお願いします。

(前田町民課長)

環境でございます。数値目標が東郷池の水質、CODでございますが、4.5mg/lということでございます。平成24年3月現在の数値でございます。衛生環境研究所の方から提供いただいた数値でございますが、暫定値ということでございます。変動する可能性があるということでご了解いただければと思いますが、平成23年度暫定値として5.3mg/lというところでございます。前年同期5.5mg/lと比べると、若干低下、改善をしているという、数字上はそういうことになっておりますが、ほぼ平成18年度から見るとそんなに変動はないという状況でございます。以上でございます。

(山田産業振興課長)

次に、観光でございます。宿泊者数を年間20万人でございますけれども、そこに達成状況を挙げておりますとおり、平成23年が約16万人、前年同期で約15万9千人でございます。現状では20万人には達しないということで、今後対応が必要であると考えています。

次に、産業の関係でシジミの漁獲量が年間200トンということでございます。平成23年が約134トンということですが、これは1人当たりの制限を加えたということで減っているものでございます。200トンの漁獲量がいいのか、悪いのかはわからないところですが、現在は約134トンとなっております。

(山田会長)

以上ですか。

(中本企画課長)

資源の方につきましては、各事業の目標値を90%以上という形で設定しておりますけども、先程実施計画の方でそれぞれということを出していますので、そちらでご了解いただければと思います。

(山田会長)

それでは、平成23年度の事業に関して総論的にご報告いただきましたが、どの分野でも結構ですから、ご質問やご意見がありましたらお願いします。どうぞご遠慮なく。或いは、事務局から補足があれば、他の部署でも結構ですから補足をお願いします。

いかがでしょうか。皆さんの方から。(特になし)

それでは、平成24年度のご説明をいただいて戻っても結構ですから、その時にやり取りをさせていただくということで、次に、平成24年度の事業提案についてご説明をお願いします。

(中本企画課長)

各委員及び各団体へ東郷湖に関する取り組みについての取りまとめを依頼し、事業提案をいただいたところがございます。その結果を私の方で説明させていただいて、また、提案していただいたところから補足説明という形で受けたいなと思いますのでよろしく申し上げます。

まず、第一点でございます。東郷湖活性化プロジェクトに追加する新規事業という形で提案いただきました。①ウオーキングリゾートの推進ということで、県内外はもとより、国外の愛好者からも評価の高い東郷湖周を拠点としたウオーキング、ノルディックウオーキング大会の情報を共有しながら、湯梨浜町及び鳥取県中部地区の魅力として発信するとともに戦略的に活用するということがいいのではないかという形でのウオーキングリゾートの推進ということが出てきました。参考としましては、東郷湖周辺で行われているウオーキング大会のことを書いております。平成24年度の開催予定としましては、まず、4月28日に第一弾として、資料を付けさせていただいておりますが、「ケータイで健康づくりウオーキング」記念大会ということで、県の方が主体という形で実施されます。それから、例年実施しています東郷池春の健康散策ウオーキングということで、東郷湖羽合臨海公園が実施しているものでございます。6月16日にはSUN-IN未来ウオークという形で、NPO法人未来の方が実施され、湯梨浜町は1日目のコースということでございます。8月下旬には湯梨浜ナイトハイクということで、青少年育成湯梨浜町民会議が開催するというところでございます。10月には東郷池秋の健康散策ウオーキングということで、東郷湖羽合臨海公園が開催されます。それで、今回大きな大会として、11月10日から11日、ノルディックウオーク湯梨浜大会ということで、NPO法人未来の方で計画されているところでございます。これにつきましては、町の方でも今回、未来創造会議の方でも出ておりますので、協力していきたいと考えているところでございます。続いて、②ウオーキングルートの策定及びルートの施設整備でございますが、ウオーキングルートを各分野から検討し、歩いて楽しく、興味がわくルートを検討してはどうかということでございます。これにつきましても、現在県の

方のご協力を得て、歩道の設置等も実施されるところでございます。ルートにつきましては、平成24年度からやっというところで、企画課の方で企画しているところでございます。続いて、③東郷湖周回道路整備事業につきましては、ルートの策定の中で説明しましたので省略させていただきたいと思っております。続いて、④エコツアーの創設ということで、東郷湖カヤックエコツアーとか、ドラゴンカヌー体験エコツアー等を計画されてはどうかということで、ご意見をいただいたところでございます。最終的に、東郷湖・未来創造会議事業で展開していくという形で書かせていただいております。後で、東郷湖・未来創造会議の取り組みについてということで細かく説明させていただきますが、これらの内容につきましては、東郷湖・未来創造会議でも皆さんからご意見をいただいて、その内容の項目にあったものになっています。そこで、町の方といたしましては、東郷湖・未来創造会議で提案された事業については、すべて具現化していこうという形で、平成24年度から実施していくことにしています。

それから、新たな目標の設定という形で、大きなテーマとして出てきました。①五感に基づいたわかりやすい環境指標を導入してはどうかということでございます。鳥取県衛生環境研究所で実施した東郷池五感チェックアンケートをもとに、住民の満足度を取り入れた環境指標の設定について検討。それで、今年度、東郷池の水質浄化アクションプログラムにおいても、住民意識を反映した新たな指標の作成を事業として盛り込む予定ということでございます。しかしながら、目標の設定など指標を具体化するためには、さらなる調査の継続が必要ということで、東郷池五感チェックアンケート調査結果から、住民や行政の努力によって改善可能な部分を目標にできるのではないかと。また、総評価に利活用の度合いなどを加味して目標とすることができるのではないかとということでございます。現在、この会議でも目標値という形で出ておりました。東郷池の水質(COD) 4.5mg/lという形での目標値がある訳ですけれども、こういう考え方を取り入れながらやっというものでございます。②透明度を指標ということで、東郷池の特定地点での透明度を毎月調査。広報ゆりはまで解説を加えながら、東郷池の水質に関心を持ってもらうということで、これにつきましても、広報ゆりはまに掲載しておりますので、実施中ということでご理解いただきたいと思います。

続きまして、事業及び実施主体間の連携ということで、①事業ごとに内容に関連した部署が話し合いの場を持つことが必要ではないかとということでございます。②シジミのつかみどりイベントということで、つかみどり、シジミ汁販売、温泉、宿泊をセットアップし、東郷湖産大粒シジミのPR、シジミを活用した地元への還元が期待されるということでございます。

続いて、その他としまして、①内容によって、関連部署との話し合いが不十分なように思えるということでございました。これらにつきましても、やはり横の連携を取りながら色々対応すべきであると思っているところでございます。

それから、別資料で皆さんの方に配布させていただきました。提案という形で、東郷池河川整備計画を県の方がつくられるということで資料をいただいております。それと、南谷の

臨海公園内にあるローラースケート場でございますが、ここをアクティブスポーツパークとして整備されるということでございます。それから、新たな環境指標の設定に向けてという形で資料をいただいたところでございます。以上、項目について説明させていただきました。新たな内容について、所属の方から説明を順次していただきたいと思っております。

(山田会長)

それでは、補足をお願いします。初めからいきましょうか。追加する新規事業のところの①は今のご説明でいいでしょうか。

(林：事務局)

追加する新規事業については、これは皆さんからご意見をいただいたものなのですが、後程、東郷湖・未来創造会議全体の提言内容を改めてご説明させていただきたいと思っております。次の新たな目標の設定のところでご意見のあった五感に基づいたわかりやすい環境指標について、衛生環境研究所の方から資料をいただいておりますので、宮本研究員の方から説明いただけたらと思っております。

(山田会長)

それではお願いします。

(宮本鳥取県衛生環境研究所水環境対策チーム上席研究員：事務局)

衛生環境研究所の宮本です。まず、新たな環境指標というのはどのようなものかという大まかな概念をお話しさせていただきたいと思っておりますので、こちらのチラシの左上の図を見てください。先程CODの達成状況のご説明がありました。これはどういうものかと言いますと、従来の枠組みで県の方が環境指標を設定して達成度を見るというものでしたが、過去の環境基準というのは、昔の公害がひどかった時代に基準をつくったという背景があります。ただし、最近ではそれほど健康を害するようなひどい環境悪化というのは起きませんで、そのかわり、住民がどれだけ池の環境を満足できるか、住民の満足が求められるようになってきたことをうかがいまして、これを同時に新しい指標として取り入れていこうというのが基本的な考えです。昨年、湯梨浜町のご協力をいただきまして、全体で1,250人の方々のご協力をいただきまして、五感調査を行いました。結果の方は再々お話しさせていただいておりますが、若い人ほど評価が低いということ、池の近くで、池を見た状態で評価をしてもらおうと非常に評価が高くなるという結果が見えてきました。傾向はつかめたんですが、五感調査の評価の数字を具体的に解析してみましたところ、現在の五感調査の方法に問題がある。20点満点で五感に関して評価を加えているんですが、採点者の98%、1,250人の98%以上の方は、0点と10点と20点しか点数を付けていない。それはどうも集計上の判例、0点が良くない、10点がまあ良い、20点が非常に良いというふうな採点に引っ張られてしまって点数の評価の方がよろしくないんで、そこを改良いたしまして、今年度新たに完全に仕切り直しまして、もう一回評価のし直しと住民がどのレベルであれば満足できるのかということと同時に評価させていただきまして、五感を使ってどの程度だったら住民が満足できるのかということ今年度から行っていく予定です。概要は以上です。

(山田会長)

説明は以上ですか。

(林：事務局)

併せて、中部総合事務所の方からお願いします。

(吉井鳥取県中部総合事務所県民局企画調整参事：事務局)

先程、少し紹介していただきましたけれども、追加で資料をお配りさせていただいておりますので、簡単にご説明させていただきます。今、県の方で動きがあるものについて、参考に紹介したいんですけども、まず一つは、東郷池河川整備計画の検討状況について、今年度の第1回プロジェクト推進会議の時に県土整備局の方から、今年度からこういう取り組みをするということを説明させていただいたところなんですけれども、スケジュールの資料をお配りしておりますけれども、平成25年3月頃に河川整備計画を決定、公表するというところで、こちらの方は河川管理者である県の方が作成するものになっておりまして、どの程度の災害に備えるのか、どういったようなことに備えて整備をするのかというのは、こちらは県の方が検討して決定することにはなっているんですけども、併せて東郷池の場合は、やはり環境ですとか、観光への影響ですとか、産業に配慮した整備をしないといけないんじゃないかということで、検討委員会を設けて、こちらに大学の先生ですとか、関係団体の皆さんに入っていて、ワークショップ形式で色々と意見をいただきながら検討しているところです。先日、第3回の検討委員会を開催しまして、概ね了解いただいたと理解しているんですけども、そこでいただいた意見なども踏まえまして、来年度は5月頃に第4回の検討会を開催していくそうです。またその後で、素案につきましては、住民説明会ですとか、パブリックコメントということで広く皆様の意見をお聞きした上で、最終的には今年の12月に河川整備計画の案を決定するということになっています。また、色々と意見をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

それからもう一点、アクティブスポーツパーク整備事業ですけれども、今、県の中部にもアクティブスポーツを楽しむ若者のグループがありまして、スケートボードですとか、競技用の自転車といったもので、非常にファッション性が高くて、若い方で人気のあるスポーツだそうなんですけれども、練習場がないということで練習場の確保をしてほしいということが県の方に要望としてありました。それを受けて、東郷湖羽合臨海公園の南谷地区にローラースケート場があるんですけども、そこをアクティブスポーツパークとして整備をしようという事業の予算が、来年度予算に計上されたところです。一応、12,380千円の予算計上になっております。その中身は、これから具体的な整備のあり方について意見交換していくための経費とセクション整備ということで、1枚別の紙で配っていただいているんですけども、アクティブスポーツパーク整備計画というところにバンクとか、ファンボックスとか、スケートボードで楽しむような、そういう設備がセクションというようなんですけれども、そういった設備の購入費ということで計上されております。ただ、お断りなんですけれども、ここに1台当たりいくらか資料に入っておりますが、これはあくまでも参考までということで、これで必ずしも決定した訳ではなくて、意見交換しながら整備は進んでいくと思います。これを契機に、若い人たちに地域に入ってきていただく、また、ウォーキングリゾー

トですとか、スポーツツーリズムですとか、そういうものと連携して地域の活性化につながるような整備ができると考えておりますので、皆さんのご意見をいただければと思います。よろしく申し上げます。

(山田会長)

以上でよろしいですか。それでは、今までのところで、新規事業を含め、或いは県の方からのご説明を含め、ご質問やご意見がありましたらお願いします。いかがでしょうか。

(中本企画課長)

事務局としましては、この意見を受けまして、平成24年度の事業実施の方で取り上げていきたいと思っております。それで、新規事業として提案のありましたウオーキングとか、東郷湖周回道路整備事業、エコツアーの創設等につきましては、東郷湖・未来創造会議の方で提案されておりますので、事業計画の中のアクションプログラムという形で進捗を取り上げていこうと思っております。個別の年度ごとの事業はこういうものですよということを皆さんの方にお示しして、進捗を確認していただきたいと思っております。五感チェックの方につきましても、目標の設定でございますので、これらをどういう形で出していくかということについて検討していきたいと思っております。それから、追加として提案のあった河川整備計画及びアクティブスポーツパーク整備計画についても、新規事業として追加していこうと考えております。

(宮脇町長)

途中中座いたしましたけれども、皆さんが考えておられる間に私が感じたこと、思ったことを申し上げたいと思っております。一つは、大きな目標の達成状況というのはどうなんですか。宿泊客20万人なら20万人、個別事業のカニバス事業はそうなんですけども、トータルの面ではどうなっているか。水質も含めて大きな目標、その報告がありましたか。

(林：事務局)

進捗状況資料の26ページに記載しています。

(宮脇町長)

失礼しました。この部分を聞いていなかったもので。これを見て議論いただけたらと思えますし、それと聞いている中で、一つは戦略に欠けているものがあるなど。具体例を挙げて悪いですが、例えばエコファーマーの取り組みにしても、一旦、千数世帯の農家がエコファーマー米の取り組みに関わられたということで、おそらくJAサイドの方としては肥料などについて指導されていると思うんですね。その後の状況などを踏まえた上で、次にどのようにするかという戦略を描かないと、何も結局しないで終わってしまうということになると、エコファーマー米の促進とか、そういう取り組みをやっていますよということが言えないようになってしまいますよね。だから、それにのっとった米ができたのなら、それを次は世間に周知して売る方法みたいなことに進んでいかないと駄目だという戦略的な面を感じました。それから、PDCAサイクルという面から言うと、何か具体的な数値評価みたいな部分が欠けているところもあるのかなということを感じながら聞いていたので、来年度やっていく上ではそのあたりも頭に置きながら進めていかなくてはいけないかなと感じま

した。時勢も含めてということ。

(宮本委員)

先程のエコファーマーのところで、申し訳ありませんと言われたんですけども、私は一方で、東郷池の環境改善に向けたアクションプランというのを定められていて、その中を見ますと、水稻のエコファーマーは関係作付面積の44%と非常に積極的な取り組みがされているという報告を受けておりました、なかなかこれだけですね、確か千数百戸の農家がエコファーマーに取り組んでおられて、県下でもなかなかそういう地域はない訳です。非常に自慢できる活動の一つだと私は思っておりましたら、何か全然成果がありませんというような感じで報告があったものですから、新たな取り組み農家が増えなかったという観点の達成度だったのかなと思って話を聞いたところです。少しエコファーマーについても精度を高めていくというか、そういうことは日頃県の方も、倉吉農業改良普及所も多分指導はしていると、JAと一緒にしながらしていると思っております、そこはやはり実績として挙げていただいてもいいのかなと思ったりしたところなんですけど、どうなんでしょうかね。

(中田委員)

実際のところは、農協の方に出荷される方の農家で、95、6%までいってしまして、100%ではないですけども、ほぼもう一杯一杯のところまでエコファーマーの米を出荷していただいておりますので、正直なところ一杯一杯の状況ですよ。農家としては、ですから、先程町長が言われましたように、これから先のエコファーマーの米をどう売っていくかというような啓蒙活動が重要になってくると思います。中央農協としましても、エコファーマー米ということでラベルを貼って出荷はしておるところでございますけども、昨今のこの米の事情ですからね。そんなにポンと高く販売できるというものでもないですけども、若干なりとも有利には売れるとは思いますが状況によると思います。ですから、エコファーマーはもう既に一杯一杯の状態ですので、これ以上増やすということになれば、いわゆる農協といいますか、飯米農家で、全然出荷しない自分の家で食べられる方々がエコファーマー米をとということになるんですけども、なかなかそこまでの啓蒙というのは厳しい面があります。

(長谷岡委員)

エコファーマーの話で、確か今、アクションプログラムの中では、今度畑地の方、果樹園の方に考え方を広げて拡大を図ろうかという計画を立てているところだと私は認識しているんですけども、そういうことでいけば必ずしも水稻だけがエコではないと思いますので、そういう意味で取り組みとしてはやっていけばいいと思います。

(宮本委員)

具体的な目標設定をどの程度まで置くかというあたりに具体性を持った方がいいかもしれませぬ。水稻はどのくらいとか、山地の果樹でしたらどのくらいとか、非常に果樹の場合がエコファーマーにもっていきにくいという現状があるように聞いておりました、そういう中ですけども、少しでも農薬回数を減らすことができるような新品種に変えていくとかという動きは確かにありますので、そういう目標設定ができるといいかなと思います。

(宮脇町長)

それとやっぱり、今取り組んでいただいていることですから、生産者の方のモチベーションを維持する点からも、機会を捉えて紹介したりするという必要かなと思います。

(山田会長)

他にいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、もう一つご説明があるようですので、そちらへ進んで、また戻っていただいたらと思います。東郷湖・未来創造会議の説明をお願いします。

(中本企画課長)

それでは、東郷湖・未来創造会議についてご説明させていただきたいと思います。資料を配布させていただいていますのでご覧ください。2ページでございますが、先程の事業進捗の中で説明させていただきましたけども、3つのワーキングチームに分かれてワークショップ方式で議論しました。社会資本整備、観光・物産の活性化、顧客満足度開発、イベント・コンテンツ開発という形で、3チームによってワークショップでまとめてきたところがございます。このワークショップの内容でございますが、東郷湖のSWOT分析という形で、東郷湖の強み、弱み、弱みを克服する対策、強みをさらに発展させる対策という形で分析をしながら、みんなが意見を出しながらやってきたところがございます。東郷湖の強みとしましては、温泉資源があるとか、水産資源があるとか、1周12kmで歩ける広さであるとか、そういう意見が出てきたところがございます。それらを総括すると、縄文海進が創った典型的な潟湖であること、山と森と里と海がつながっているということ、希少性の高い湖底から温泉が湧出する美しい湖であるということの評価したところがございます。弱みにつきましては、水が汚いとか、漁業権があるということがありました。弱みを克服するためにはという形で、イメージアップとか、郷土料理とか、特産品の開発や販路拡大とか、水防対策ということがありました。強みをさらに発展させるというところで、温泉地としてのイメージづくりとか、湖上温泉とか、ブランド化などの意見が出てきたところがございます。それらを発展させるためには、現在新3Kと言われる環境、健康、経験、観光も入るようですが、それらの時代だということでございますし、自然景観や歴史文化の戦略的活用、国や県の施策を積極的に取り込む、オンリーワンの拠点形成を図っていくということで意見が出てきたところがございます。それで、重点的に取り組むプロジェクトの視点という形で、社会資本整備チームにつきましては、自転車道と歩行者道の周回コースの建設が必要ではないか、花と緑豊かな湖畔づくりということで、東郷湖周辺に花を植えたらどうかというようなご意見をいただいたところがございます。それから、観光・物産の活性化、顧客満足度開発チームにつきましては、温泉資源の戦略的な活用、地産地消システムの構築という形でご意見をいただいたところがございます。イベント・コンテンツ開発チームについては、参加体験価値の高いイベント創造、町民参加の共育・協働システムの構築が必要だということで整理したところでございます。

次でございますが、プロジェクトの方向性ということで、東郷湖の特殊性を最大限活かすためのキーワードとしては、いわゆる差別化を図ることが方向性でございました。そ

れで、東郷湖は縄文海進が造った典型的な潟湖であるということ、森里海を連環する豊かな自然環境があるということ、それから、湖底から温泉が湧出する美しい湖であること、もう一つ、天女伝説があるということが大きな方向性となったところでございます。プロジェクトのコンセプトとして、東郷湖のシンボルを天女という形で、他との差別化とオンリーワンを目指してやっていこうということでもとめたところでございます。目指す方向性としては、天女も惚れたリゾート地、女性が主人公になるリゾート地というものを目指しながら、各種の事業展開を図っていく必要があるのではないかと考えてございます。

それで、社会資本の整備としては、東郷湖周12kmの中で自転車道と歩道の整備が必要であると。歩くコースの設定、東郷湖周をベースとしたコース拡張を設定、森里海の連環を創出というような意見が出てきました。それで、ウォーキング等のプロジェクトを皆さんが言われたところでございます。観光・物産の活性化につきましては、縄文海進、森里海の連環と天女伝説をもう少し強くするためには、新しい物語、ストーリーをつくる必要があるというものでございます。その中には、東郷湖の今持っている資源としては、例えば梨とか、シジミ、お祭りの花火等々を天女の恵みとか、涙というような形で、天女を表に出しながら売り出していく方法があるんじゃないかと考えてございます。イベント・コンテンツ開発の視点という形で、東郷湖を舞台に開催されているイベントの評価から、最終的には天女をテーマとしたユニークなイベントの形成を図っていく必要があると考えてございます。

それらの意見をまとめて、たくさんの内容が出てきています。色々こういうことをしていけばいいというメニューがあります。それらをするためのプロジェクトという形で、10個のプロジェクトにまとめています。①天女イメージ創造プロジェクト、②東郷湖周整備プロジェクト、③ウォーキングリゾートプロジェクト、④花と緑の夢空間プロジェクト、⑤住民参加型共育・協働プロジェクト、⑥森里海連環プロジェクト、⑦ゆりはまものづくりプロジェクト、⑧新3K創出プロジェクト、⑨サービス機能増強プロジェクト、⑩魅力あるイベント創造プロジェクトという10個のプロジェクトにまとめました。中には、同じようなメニューになるのでだぶっているような事業もございますが、プロジェクトの内容で説明させていただきます。

まず、天女イメージ創造プロジェクトという形で、天女を売り出していくということで、天女シンポジウムの開催を計画しているところでございます。これは、平成24年度に予算化し、シンポジウムを開催するという形で、現在、既に進めているところでございます。イメージ戦略推進事業として、イメージキャラクターの製作、イメージソングの製作、こちらは少し検討が必要ですが、その他、ノベルティー製作及び販売というものでございます。

それから、東郷湖周整備プロジェクトとしましては、東郷湖周の歩道未整備区間の整備を図る必要があるということで、藤津から宮内までの歩道整備が出てくるのではないかと思います。これは、現在、県の方のご協力を得て、設計等が進んで整備の方に向かっていただいているものと思っています。それと、ウォーキング、ノルディックウォーキング、サイクリ

ングという形で、道路整備を行っていききたいというものでございます。続いて、観光案内板整備ネットワーク化事業という形で、名所、景観スポットなど観光案内板の再整備、距離表示、モデルコース表示、多言語化対応というご意見をいただいたところでございます。ウォーキングをこの事業の一つの柱という形で捉えておりますので、歩道とか、途中途中に距離表示とかを設置して、どのくらい歩いたかという形の表示をしていったらということで、平成24年度計画をしたらと思っておりますところですが、まだ計画段階で、予算が付けば向かっていこうというところでございます。東郷湖周エリアスポット整備という形で、天女がイメージできるモニュメントの整備が必要ではないかということで、これにつきましても、現在、国の方に申請して、平成25年度実施に向けて作業をしているところでございます。

次に、ウォーキングリゾートプロジェクトでございますが、ウォーキングステーション整備事業という形で、調査もしなければなりませんけれども、我々が事務局として見ておりますのが、湖周12kmの中にはステーションとして活用できるような施設がございますけれども、出雲山の展望台がどうもステーション機能がないような状況ですので、ここにウォーカーのための施設が必要ではないかということで、このあたりについても検討しているところでございます。その他、サービスメニュー創出支援事業という形で、東郷湖周のみに限定しないオプションコースの設定ということで、東郷湖周は12kmですから、ウォーカーについてはある程度の距離、20kmないし40kmというようなコースがないともう少し魅力に欠けるのかなということがありますので、町内の中で健康コース、体験コース、歴史コース、季節の花コース等々を考えながら、コースを設定していく必要があるということで、これについても平成24年度に、商工会の方でも取り組んでおられますし、町の方もある程度検討しておりまして、有利な財源があればコースの設定という形で取り組んでいきたいと思っております。次に、ウォーキング・ノルディックウォーキング大会という形で、これにつきましては、先程の新規事業の提案の中で説明させていただきました。11月10日頃でございますが、ノルディックウォーク湯梨浜大会という形で売り出していこうということもありますので、既存のウォーキング大会、ノルディックウォーキング大会を売り出していこうということで現在動いているところでございますし、平成24年度予算におきましては、ノルディックウォーキング公認指導員の養成をしていこうと考えているところでございます。

続きまして、花と緑の夢空間プロジェクトでは、公園の中でも植えていこうと。それらにつきましては、ボランティア、アダプトプログラム等々を養成しながら進めていこうという形で、現在考えているところでございます。

続いて少々飛びますが、森里海連環プロジェクトという形で、3月25日に実施しましたシンポジウムの中でも、京都大学の田中先生にお話しいただきました。森里海の連環というものを今後、湯梨浜町でも売り出していく必要があるのではないかとということで、現在進めていこうとしているところでございます。それにつきましては、提言していただきましたコミュニティカレッジの開催等を含めながら、子どもの頃から、現在聞いていますのは、海の方でも漁育という形で、泊の港の方で子どもたちに海の勉強会をやられていますので、そ

れらにつきましても、講師等を派遣しながら森里海の連環を考えてみたらどうかということも検討しているところでございます。

後、新商品の開発等々につきましては、平成23年度の事業進捗状況に書いてありますので省略させていただきます。

今後、県の方が具体的にやられる事業とタイアップしながら、やはり湯梨浜の魅力、東郷湖周辺の魅力を図る必要があるということで、まず、マンガサミットを活かしたものという形で、マンガサミット関連イベントと合わせながら、天女のイラスト、公募か、若しくは漫画家の方に描いていただいて、天女のイラストをつくるとか、キャラクターをつくるとか、ゆるキャラをつくるとか、平成24年度に実施しようと思っているところでございます。それと、今から1年半後になりますけれども、全国都市緑化フェアというものが鳥取県で開催されます。鳥取の湖山池公園が主会場になりますけれども、湯梨浜町では東郷湖羽合臨海公園がサテライト会場という形で実施されますので、それらに合わせながら、天女楽市楽園イベントを一緒にやりながら盛り上げていこうかなということが提案されていますので、これらの内容を詰めながら、今後、進めていきたいと思っているところでございます。

以上、簡単に未来創造会議の内容を説明させていただきました。タイムスケジュールという形で、それぞれのプロジェクトのタイムスケジュールを事務局なりに考えさせていただきました。これらの事業を5年計画という形で、目標を立てながら進めていきたいということで、あくまでもこれは計画でございますが、年度ごとに進めていきたいということで資料を付けさせていただいたところでございます。これらのことを活性化プロジェクト推進会議の方にフィードバックさせていただきまして、事業進捗の方を確認していただいて、協力していただける部分につきましては、提言をいただきたいなと思っているところでございます。以上でございます。

(山田会長)

以上ですか。それでは、ご意見などがありましたらお願いします。或いは、ご質問がありましたらお願いします。

今、魅力的なプロジェクトがたくさんあったんですけども、予算的裏付けはどんな感じなんですかね。

(中本企画課長)

平成24年度につきましては、まず、天女シンポジウムというものを開催するようにしております。それにつきましては、当初予算に計上させていただいて、天女という形で打ち出していくことを考えています。それと、ノルディックウォーキング公認指導員の養成についても予算計上しております、10名の方、県の方のご支援をいただきながら進めていく予定にしています。それから、ウォーカーへの情報発信、休憩場所につきまして、ハワイ夢広場のところに夢広という喫茶店があります。そこをNPO法人未来の方が喫茶店及び情報発信の場所という形で、900万程度、緊急的な雇用を創出するというので当初予算に計上しているところでございます。その他、ハード面につきましては、社会資本整備総合交付金が使えないのではないかとということで、県の方に協議させていただき、先日、申請はさせてい

ただいているところでございます。

(山柘委員)

イメージが湧かないんですけども、天女をどういう形でプロデュースして、PRしていくんですか。天女をシンボルにするんですよね。

(中本企画課長)

天女をシンボルという形で打ち出していこうと思っています。例えば、私はいつも言うんですけど、子どもたちや私たちもそうですけど、湯梨浜はどんなところと聞かれた時に、自然があるというだけではなくて、その中に付加価値として天女という頭が付いたら、湯梨浜は天女、天女という形になるかなというのが今回の未来創造会議の中で出てきた意見でございます。シジミを天女の涙とか、花火を天女へのオマージュとか、天女というのを何らかの形でつなげていくと。観光、物産にも。

(山柘委員)

いい流れだと思うんですけど、少し気になったのが、東郷池五感チェックで若い人ほどイメージが悪いというのがあるので、よっぽど考えていかないと活性化にはつながらないかなと思います。

(中本企画課長)

そこで打ち出していきたいと思うのが森里海連環という形で、東郷湖の水質浄化にもつながるというような展開を図っていったらどうかというのが森里海連環ということでございます。

(山柘委員)

イメージがわかりました。

(宮脇町長)

そういった意味では、山柘委員にお世話になっておりますトライアスロンなども、イメージ、泳ぐわけですから、そういうことがイメージを変える機会にもなっていくんじゃないかなと思っています。

(山柘委員)

東郷湖を利用して、楽しんでもらうというのを目標としていると思うんですよね。皆さんの共通点として。その代表として天女、天女をシンボルとして楽しめるようにということですね。

(中本企画課長)

きっかけにしていこうということです。

(山田会長)

先程ありましたように、若い人は評価が悪くて、東郷池の近くにいる人は比較的いいとおっしゃいましたよね。

(宮本鳥取県衛生環境研究所水環境対策チーム上席研究員：事務局)

実際に見るとイメージが改善されるということです。

(山田会長)

実際に近くの人はいいいということですよ。いかに近づいてもらうかという話ですよ。逆に言えば、若い人はあまり近づいていないのかもしれないですね。

(長谷岡委員)

この間のシンポジウムの中でも、改善策の提案として、若い人たち、小さい頃から環境学習だとか、もっと身近に感じるような環境づくりみたいなのところをやっていかないといけないとお話しさせていただきました。

(山田会長)

そうですね。

他にいかがでしょうか。どんな角度でも結構です。

(福楽委員)

ミュージカルの練習が公民館で始まっていますが、これは公募されて出演者を決められたんですか。とっっても子どもたちはそういうものに出たがるんですね。

(宮脇町長)

この間、ワークショップをされていましたが、公募してやっておられます。

(福楽委員)

小さい子どもも練習に来ています。

(山田会長)

何か色々な事業が民間活力と結び付くといいですね。町だけが、公だけが一生懸命やっているということではなくて、民間といかに結び付いて活力化するかということにしないと、本当の意味の活力になっていかないような気がするんですね。それをぜひお願いします。

(中本企画課長)

外部の方々ともタイアップしていかないと機運が盛り上がっていかないのかなと思っています。女性が主人公のリゾート地ということがありますので、例えばウオーキングをしながら、そのメニューとして健康志向のメニューがあるというような形も意見として出ていたところです。どこに行っても健康メニューがあるということを町全体としてやっていくことができたかなという夢はあるんですけども。

(宮脇町長)

先程の天女のイメージということですけども、天女をトータルなイメージとして、天女を使うにふさわしい素材が湯梨浜にはあると思っています。美しい景観や豊富な果物など、そういうものを踏まえて、天女をトータルのコンセプトにして、その他にモニュメント的には、例えば中将姫や下照姫命も、出雲山に下照姫命の銅像を建てて西の方を向いている姿とか、出雲の国を懐かしむという写真スポット的な意味も直接的にはあるんですけども、そのコンセプトでやっていって、要するにモニュメントをつくって、東郷湖周に花や木を植えて、女性が来やすい場所にするということだけじゃなくて、産業との関わりでお話がありましたけれども、例えば農産物にしても、天女のシールをつくって「天女の国のおいしい〇〇」というように貼ったりとか、役場の封筒などにももちろん天女のマークを入れますし、車のナンバーにも、バイクのナンバーにも入れますし、至るところで天女が降っているまちとい

うような感じのイメージで活用したいなと思っています。いいものをそうやって売ってあげば、それがまた相乗効果を生む可能性もあるというような気持ちでいるところです。

(山根委員)

最終的には非常にいいことかもしれませんが、やはりその場で楽しむ、飲んでもらって、食べてもらって、食べ物でお示しするしかないですね。天女なら結婚式だとか、天女のあるお祭りだとか、楽しめるものがないとなかなかシールだけでは難しいですね。そのあたりのことを考えながらやってほしいなと思います。

(山田会長)

家庭の中に天女がほしいですね。

(宮本委員)

この間の休みの日にあったシンポジウムに行かせてもらって、すごく印象に残ったのが、観光地で女性が主役になる観光地というのは、まだ京都とか、奈良ぐらいしかないというような話をしておられましたよね。そうなのかなと思ひまして、かつて観光業というのは、みんな男性をもてなすというか、観光客という男性で、女性がたまに来ると夕方になったら家族のことが気になって公衆電話の前に並ぶという風景があったというお話があって、そうかと自分もかつて電話したとか、昔はそういう姿だったなと思ひました。だけど今、女性が主役の観光地というのが本当にまだ京都と奈良ぐらいだとすれば、もう少し女性が何を好むのか、どんなことをしたら喜ぶのかということを考えていかなければいけないだろうなと思ひました。その発想にはやっぱり、特に若い女性にも知恵をいただかないといけないのかなと思ひます。ぜひ女子会みたいなことで知恵を絞るようなこともあってもいいのかなと思ひたんですけどね。

(中本企画課長)

来年度、未来創造会議を開こうかと思ひているところですので、その中で女性の方の意見をもう少し取り入れたことも考えたいと思ひます。

(宮本委員)

ぜひお願いします。

(中本企画課長)

女性が主人公になるリゾート地ということを出していますので、そういう東郷湖でありたいと思ひていますので、旅館組合なども一緒になってやっていただきたいと思ひています。よろしくお願いします。

(山根委員)

中華コスプレなども天女コスプレみたいなものがある、大阪の方ですけど、花魁(おいらん)の格好をして街をパレードするというようなこともやっていますよね。そういうものを参考にさせていただいて、皆で楽しむ、お客さんに楽しんでいただいで盛り上がっていくようなことを考えたいなと思ひています。

(山田会長)

私は今、若い女性はいくらでもフットワークよく旅行していると思ひますけどね。

他にいかがでしょうか。色々トータルに湯梨浜町を活性化したいというのが狙いだらうと思いますので。

(宮脇町長)

ウオーキングリゾートとしての整備の関係ですけれども、一回、津村委員がこの会で泊地域が外側みたいだと、東郷湖周とみんな付いてしまうものですから、そういうご意見もありましたけれども、このウオーキングについても、東郷湖の周回の道路からどう行って、どんなところがありますよというコースもきちんと拾い出して、情報として出せるようにしたいと思っています。それから、モニュメントなどについても、泊には泊にふさわしい、泊の海を見ながら何がいかと今、考えているんですけれども。必ずしも東郷湖だけではなくて、町全体の素材を活かしてということは頭に置いてやっていきたいと思っています。

(津村委員)

私たちも、何か東郷池と聞くと私たちは関係ないとなってしまいますので、今日も資料を見ていて、泊の夏まつりのことが出ていまして、長年、車の置き場所がないもので花火も見に行かないんですけど、今年の夏、久しぶりにどんな状況になっているかなと思ったら、本当に泊地域じゅう、車の置き場所がないぐらいありますし、海岸にもものすごくお客さんが来ておられます。多分、これは湯梨浜の中でもどこに行っても負けないぐらいの花火大会だなと感心しました。若い人でも、鳥取の方から来られたり、米子の方から来られたりして、すごい賑わいなんです。それから、広場に夜店が出ますけど、最初行き出した頃は外側に一列だったんですけど、久しぶりに行ってみると二列になっておりまして、集客というか、お客さんがものすごくおられるんですよ。それこそ泊地域の人口の何倍もの人がおられるんじゃないかというぐらい、なかなか食べ物が購入できませんでした。これだけ賑わうんだったら、東郷池の方にもそういうことがあったらいいなと思いますけど、湯梨浜町全体でそういうような集客力のある魅力的なことをもっと盛り込んでもらってもいいかなと思いました。

(山田会長)

いかがでしょうか。

(川崎委員)

シンボルの天女というのは、イメージキャラクターみたいなものをつくらうということですか。こういうものをどこかに、いつでも、どこでも印刷物にはのっかるようにするということですか。

(宮脇町長)

イメージはそんなイメージですね。

(川崎委員)

それがあると結構、キャラクター商品というものにもつながりますし、おもしろい取り組みになると思います。

(宮脇町長)

この間オープンしましたパニーニあたりも、「因幡乃国のおいしいラスク」をつくってお

られまして、とってもよく売れているんです。東京の全国の物品が集まってくるアンテナショップで、いつもナンバスリーまでに入っているという、「因幡乃国のおいしいラスク」がですね。それで、湯梨浜町は果物が豊富ですので、湯梨浜ラスクやマカロンなどを考えてくださいとお願いして、湯梨浜ラスクをつくるからということによってくださって、近い内に登場するんじゃないかと思えます。それに、天女の絵を描いて載せたりすれば、イメージの造成にもつながると思ったりしています。松崎駅の入り口のところとか、松崎駅という看板もそれにちなんだようなものに付け替えさせていただいたりということも早い段階でやりたいなと思っています。

(長委員)

東郷湖活性化プロジェクトに追加する新規事業に、ウォーキングリゾートの推進というものが出ているんですが、具体的にどこが主管されますか。行事をもっておられると思いますが、どこがやられますか。

(宮脇町長)

大会としては、NPO法人未来が多分やっけてくださいます。今、totoの助成金とか、そういうものにも手を挙げて、それから、普段着のウォーキングみたいなものは、健康推進課や公園管理者の方が、できれば連携してやりたいと思っています。そういう形でやるように考えています。

(長委員)

それで、こういう行事が入っている訳ですね。私が気にかかるのがルートの設定なんです。ウォーキングのルート色々つくるのがおもしろいのではないかと考えますし、しかもここは、いわゆる山、池、海が揃った環境を持っている。そういうものを十分に活かすルートというものが必要ではないかと思うんです。ルートには、やっぱりそれ相応の施設、そこに書いてありますように、施設をつくらないといけないと思うんです。そういうものの計画というものについては、どちらが主管されますか。

(宮脇町長)

直接的なまとめは企画課がすると思います。

(長委員)

色々歴史的なものもあるでしょうし、或いは地形的な問題もあると思いますし、或いは計画的な問題もあるでしょうし、そういうものを下地にしたルートを組んでいくというような形のものもおもしろいんじゃないかと思えます。そういう点も配慮していただいたらありがたいと思います。

(山田会長)

NPOなども、随分そういうことを検討してコースを組んでいます。私も少し関わっているんですが、一番大きなポイントがトイレになるんですね。トイレをどこにきちんと配置してあるか、そういうことがあると思います。それから、長委員がおっしゃったように、景観などに十分配慮してやっていると思います。

(長委員)

特に、石脇のあたりから上がって、林道を通って、原から降りて、馬ノ山を通るようなコースは、海あり、山あり、歴史あり、とてもいいですね。

(山田会長)

起伏をどう考えるかですね。

他にいかがでしょうか。

(古田委員)

やはりこのプロジェクトでは、シジミというものが一つの大きな素材ということになっていくなということを改めて感じます。東郷湖のシジミというのは、確かに大きくて、黒くて、すばらしい、天女の涙という名前まで付いていますけど、ところが地元に残らないという大きな問題があります。これは何故かという、資源量がないのか、或いは販路の問題なのか、色々問題がありますけど、多分漁協の都合もあろうかと思うんですが、なかなか漁協だけではどうにもならない部分がありまして、多分日本一高い高級シジミですので、やはりこれを地元に戻していくには、漁協だけではなくて県ですとか、町ですとか、或いは町民の方々、当然漁協の皆さんとか、何かそれを残すための仕掛けづくりというようなものが必要だと思います。以前、シジミ活性化プランというものを県の水産課の方でつくったこともあるんですけど、色々問題がありましてなかなかうまくいかない。今日の資料のフローの中に、東郷湖の弱みとして漁業権というものがあまして、これは我々にとっては痛いところなんですけど、県が与えている漁業権というものもあるものですから、ぜひ水産課なども入って検討していただけたらなと思います。それから、天女ということですが、これは30年ぐらい前の話なんですけど、東郷町長の方からお話があつて、河原町にハングライダーの基地があるんですね。ぜひとも東郷町でもということで、鉢伏山から東郷湖を結ぶ飛行ラインというものを設定できないだろうかというものでした。色々クラスがあるんですが、あるクラスの方々を呼ぶことができるんじゃないかとお話ししたんですけど、その後が続いていないということで、天女カップぐらいができたらいいなと思います。パラグライダーもしかりですけど、基本的な組織もありますので、そういうところにもちかければと思います。なかなか飛ぶ場所がないというのが現状です。

(山田会長)

それも一つ受け止めてください。

他にいかがでしょうか。

(山柘委員)

ちょっと教えていただきたいんですが、東郷運動公園、サッカー場とか、野球場とか、かなり改修されてとても評判がいいと聞いているんですけど、予約を取りたくても地元の人だともう1年先まで取れない、県外の人でないと予約ができないと聞いているので、県外の方は日帰りの人が多いという、旅館組合では合宿プランもありますので、そういう諸々の問題を整理できたらと思います。先に予約を取って押さえられてしまって、後で集まらなかったらキャンセルされてしまうというような変な状況も出てきているので、折角サッカーができる環境がある訳ですから、もう少し整理しながら滞在時間を長くしてもらえない

かなと思います。そのあたりはどうでしょうかね。

(宮脇町長)

運動公園の活用の仕方の一つとして、今までずっとやったらいいなと思いながら保留していたもので、名前を付けるということがあります。それは、私のイメージの中で、天女で売り出すのなら、例えば湯梨浜飛天パークとか、飛天スポーツパークとか、天女スタジアムとか、そういう名前を付けるのがいいのかなと思って、ずっと公募したりするのを抑えてきていたという経緯もあります。おっしゃったように非常に利用も多くて喜んでるところなんですけども、後、地元とのつながりという点で山柘委員（旅館組合組合長）にもお世話になったんですが、旅館の方は手上げ方式で4、5件の団体を泊められるような形というのでもできましたし、昼食につきましても、弁当を町内の仕出し屋のいくつかからとってみて、数件指定店みたいなものをつくって、そこから仕入れるような格好にもこの度新たにできたということでございまして、町内の宿泊もこれからちょっと進んでいくのかなと思っております。後は、どこかに寄るような格好にできればいいんですけど。

(山柘委員)

観客席がないんですよ。周りの家族の人が来られる環境でしたら、宿泊だとか、周辺で遊んでもらうということにつながると思うんですけど。

(宮脇町長)

私も教育委員会の方に話して、要するに陰の部分がないと家族がいませんから、今、休憩するためのテントと屋根だけのテントみたいなものを置いているんですが、山の削ったところにつくっているということで、陰はそこそこあるという具合にも聞いておりまして、木材を使って1/2を県がみるという緑の再生プロジェクトを活用してということも考えたんですけども、どうもそうしなくてもよいということで見合わせているところです。

(山田会長)

他にはいかがでしょうか。佐々木委員何かございますか。

(佐々木委員)

天女の、未来創造会議の中身がすごく広がっておりますので、ぜひ期待したいなと思います。私たちにもできることがあるんじゃないかなと思っております。よろしく申し上げます。

(山田会長)

他にはいかがでしょうか。(特になし)

それでは、その他に移ります。事務局、その他についてお願いします。

(林：事務局)

事務局、林でございます。今回、東郷湖・未来創造会議の内容をご説明させていただきました。会長が言われましたように、行政だけがということではなくて、官民連携と言いますか、町を挙げての協力体制が必要であると考えています。現在のところ、東郷湖の弱みを克服する対策という部分に、官民連携の共育・協働体制の構築ということ掲げていますので、そういう意味では、色々な形で皆様方にご協力をいただくことになろうかと思っております。今後、事務局の方から色々とお願いをさせていただきますので、一緒になって取り組んでいただ

たらと思っております。

この活性化プロジェクト推進会議ですけれども、4つの分野を設けて、また、それぞれの分野に目標を持って、多くの皆さん方に関わっていただきながら進めている様々な取り組みの情報共有を図っています。未来創造会議につきましても、活性化プロジェクトの思いですとか、視点を反映させながら色々なアイデアを集約いたしましたので、未来創造会議で取りまとめた事業の進捗についても、この活性化プロジェクト推進会議の方にフィードバックしていきたいと思っております。活性化プロジェクト推進会議につきましては、今年度、3回開催させていただきまして、今年度の進捗状況については概ねご報告させていただきました。来年度にあたりましては、今年度同様、3回程度開催する予定にしておりますが、皆様方の方にご案内させていただいております委員の任期が2年ということで、平成24年5月末にひと通りの任期を終えるということになっています。現在お願いさせていただいている各団体の皆様に改めてお願いさせていただきたいと思っておりますので、引き続きお願いできたらと思います。また、平成24年度の事業につきまして、本日資料として準備させていただきましたものは、皆さんからご意見をいただいたものを提示させていただいております。それ以外も、まだこのようなことがあるよというものがございましたら、後程事務局の方にご連絡いただければと思いますし、事務局といたしましても、もう一度整理をしまして、来年度に向けての事業の組み立てをしていきたいと考えています。その際に、本日お集まりいただいております皆さん以外にもご協力をいただかなくてはいけない関係者の方が出てくると思いますので、その場合は別途お願いさせていただきたいと思っております。いずれにいたしましても、新年度になりましてから改めてご連絡させていただきますのでよろしく願いいたします。以上でございます。

(山田会長)

一応の任期が5月末ということがまず一つですね。それから、来年度も場合によってはということもあり得るし、それはわからない。一つお願いですが、今日、未来創造会議のお話が随分ありましたので、新メンバーに未来創造会議の代表の方を一人入れ込まれたらどうでしょうかね。

(林：事務局)

事務局としては、そのように考えています。

(山田会長)

ぜひ一人入れていただければ、余計連携が取れるのではないのでしょうか。

一応、今日の議題は以上ですが、皆さんから特にというものがありませんでしょうか。

(宮脇町長)

1月でしたでしょうか。日本海新聞社で中部はひとつのシンポジウムがありまして、その時の冒頭のあいさつに立たれた実行委員会の方が、中部はひとつと言っているけれども何をやっているか全く見えてこない、わからないということでこのシンポジウムを開いたということのをあいさつで言われて、私は正直言って「アレッ」と思ったんです。と言いますのは、定住自立圏で倉吉市と中部の市町で何か一緒にやろうということで個々の協定をたくさん

結んでやっていますし、それから、広域連合の方でも、観光なども含めて推進する中部発信課というものをつくって、市町の垣根を越えた取り組みをある意味やっているのに、それなのに何もやっていない、見えてこないというのはどういうことだろうと思って考えてみると、要するにその方がそういうことに参加しておられないか、或いは自分の期待していることをやってもらっていないのか、どちらかだろうなということを考えまして、この間議会で質問を受けまして、その時にそういうことを感じておりまして、一つは、それでは何をしてほしいのか、どういうことを具現化して何を実現したいのか。それは、行政にということでは広域連合にまかせるということではないんですよね。自分たちが実現したい思いがあって、それに広域連合なり、町なりが協力してやるということが私は本来の姿だと思うので、そここのところをきっちりと議論することが大切だということと、もう一つは、中部はひとつで何か取り組んで、盛り上げていきたいと思いますという雰囲気をつくるのが欠けているというのなら、そういう意味合いのイベントもすればいいなということを思いまして、今、発言のお時間をいただいたのは、そういう関係もあってか、実は琴浦の町長が、新しく道の駅ができていますよね。そこに大きな広場が前にあります。そこを使って、中部の産品というか、そういうものでテント村みたいなものやろうかということを提案として受けているんです。琴浦町は一生懸命グルメの取り組みなどをやっていらっしゃるから、自分の町でやりたいという思いでそういう発言をされたと思うんですけど、それは、基本的には私はいいいことだと、やろうと思っているんですけども、それを湯梨浜でしようとした時に、どんなことがあり得るかなということを考えた時に、以前からお聞きしていたんですけど、お金にはならないことですが、東郷湖一周手でつないだらどうかという意見があるんです。12kmですから、単純に1mだと1万2000人の人が要りますけども、それにプラスして町がお金を出すとすれば、終わった後みんな万歳して何か食べるか、シジミ汁など、そういうものを提供するような格好で、我が町はそれをやりたいということを出しながら、中部の1市4町が一つずつ出し合ってやろうよというようなことでも思っているんですが、ご意見があればお願いいたします。

(山田会長)

今、町長がおっしゃられたことと兼ね合いするかどうかはわかりませんが、大学の立場で言うと、一生懸命大学として色々な広報をしているつもりでやっているんですけど、だけど、高校や教育関係者はよくご存知ですけど、一般住民の方はほとんどご存じないんです。言いたいことは、その当該の町とか、中部は一生懸命やっておられると思うんです。でも、周知されていないんです。だからそういう意味では、思い切った周知のありようを考えないと、いくら一生懸命やられても、より多くの方には伝わっていないということが当たり前だと思わないといけないと思うんですね。そういう意味では、おっしゃったようなちょっとショッキングなこともやってもいいと思うんですね。そういうようなことも必要だと思います。本当に利害とか、関係者はよくご存知です。それ以外はほとんどご存じないと思った方が確かだと思うので、そこらあたりを思いながら広報のことも考えたらいいなと思います。すみません。ちょっと勝手なことを言いまして。

よろしいでしょうか。

(中本企画課長)

最後に、資料を付けさせていただきます。「ケータイで健康づくりウオーキング」記念大会ということで、平成24年4月28日に開催されます。ゆアシス東郷龍鳳閣に集合ということで実施されますので、ご参加いただければと思いますし、SUN-IN未来ウオークという形で6月16日、17日の2日間開催されますのでよろしくお願いします。

(山田会長)

この未来ウオークは、私が大会長でございますので、ぜひ参加していただければと思います。今年から日本マーチングリーグというので、いわばサッカーで言えばJリーグに昇格したウオーキング大会になります。全国で12箇所ぐらいしかない大会です。

(吉井鳥取県中部総合事務所県民局企画調整参事：事務局)

今、中本課長から紹介いただきましたけれども、この「ケータイで健康づくりウオーキング」記念大会、県で初めて湯梨浜町で開催します。こちらの方にもぜひご参加ください。よろしくお願いします。

(山田会長)

それでは、ちょうど約束された時間ですので、今日の会議はこれで終わります。ありがとうございました。